

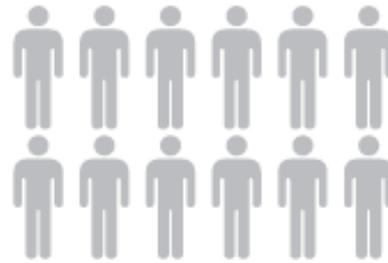
# 在宅医療連携拠点事業 における当クリニックの 取り組み

仙台往診クリニック

# 仙台市の概要

- 人口106万人
- 65歳以上人口  
193,263人
- 高齢化率 **18.8%**  
65歳以上52%  
75歳以上48%
- 在宅死亡率 **20.9%**  
(宮城県平均17.9%)

○人口密度  
Population Density



1km<sup>2</sup>に1,335人(平成23年10月1日)

○世帯人員  
Household Members



1世帯に2.2人(平成23年10月1日)

○出生  
Births



1日に24.3人(平成23年)

○死亡  
Deaths



1日に24.2人(平成23年)



# 仙台市の医療・介護資源

- 病院 60(精神科含む)
- 一般診療所 880
  - うち
  - 在宅療養支援診療所届出箇所 56
  - 訪問診療専門で行う診療所 11
- 医師数 3,348人
- 訪問看護事業所 57
- 訪問リハビリ 4
- 薬局(訪問薬剤管理指導) 245
- 居宅介護支援事業所 245
- 施設サービス 70
- 居宅サービス(訪問介護、訪問入浴、通所介護) 473

○病床数  
Number of Hospital Beds

○救急車出動  
Ambulance Responses



市民81人に1床(平成24年4月1日)



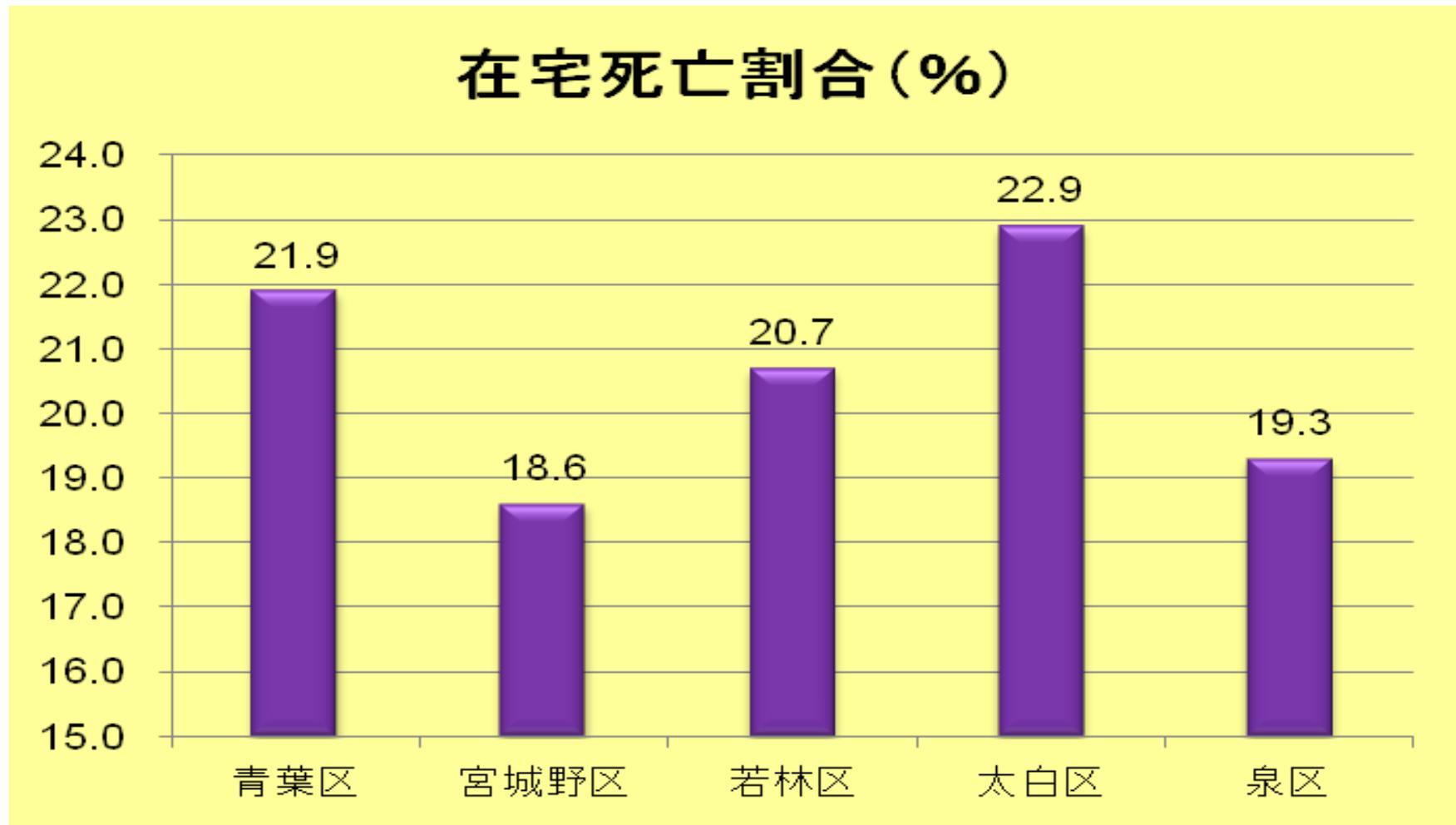
1日に127.1件(平成23年)

○医師  
Physicians



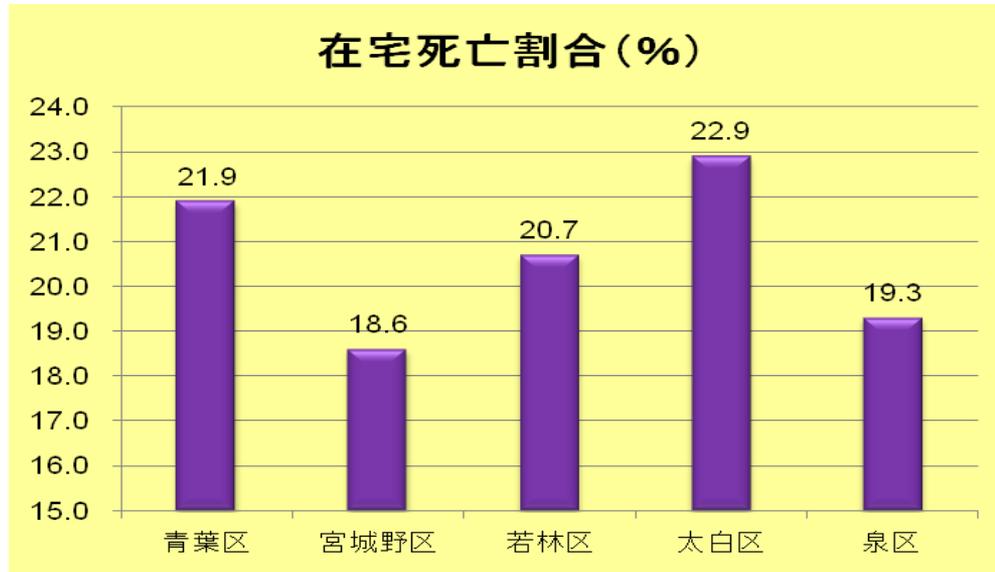
市民306人に1人(平成22年12月31日)

# 仙台市内 各区の在宅死亡割合



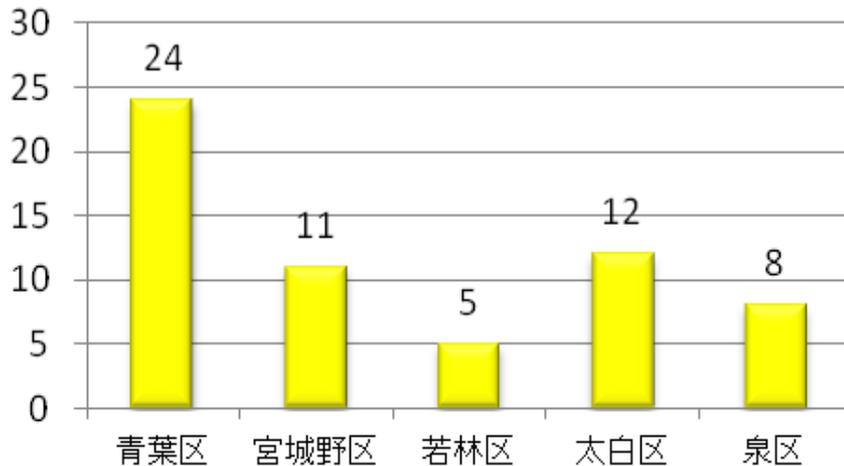
平成22年度 宮城県 衛生統計年報より

# 仙台市内 各区の病院等の数

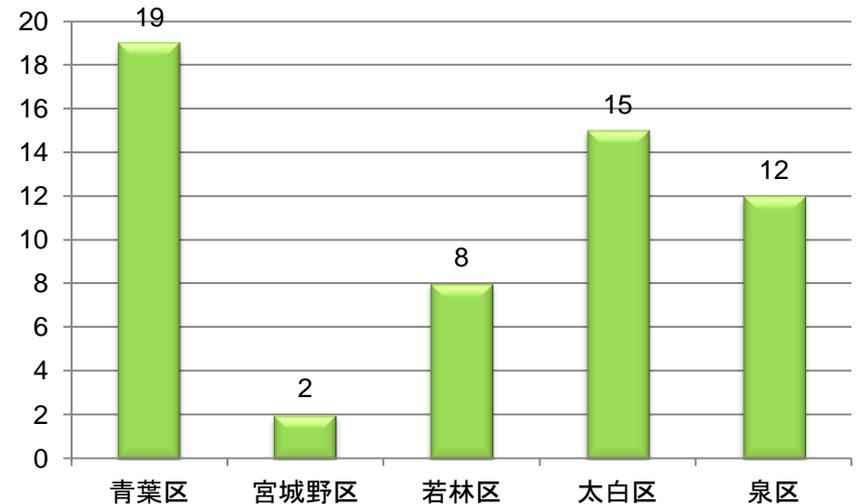


平成22年度 宮城県  
衛生統計年報より

### 病院数



### 在宅療養支援診療所



# 在宅医療連携拠点事業構想図

## 仙台市

### 在宅医療とみんながつながる会(年3回)

行政(仙台市)、医師会、病院、支援診療科医師会、薬剤師会  
訪問看護、理学・作業療法士会  
ケアマネ協会、医療社会事業協会 等

- ・顔の見える関係を構築
- ・他職種連携の課題抽出と解決策検討
- ・その他問題となっている事項に関する検討
- ・災害発生時に備えた対応策の検討

## 若林区

行政(若林区役所)  
在宅ケア連絡会  
地域包括支援センター連絡会

※復興枠のモデル地区として選定

### 研修会の共同開催(3/12)

(災害発生時に備えた用品の展示・使用も含む)

- ・事業の企画運営、研修会の開催等
- ・包括支援センター訪問
- ・**アンケート調査**
- ・**社会資源マップ(つながライン)の作成**
- ・**在宅医療普及のためのリーフレット**

外部有識者  
(助言)

在宅医療連携  
拠点事業 事務局  
仙台往診クリニック内

# 在宅医療とみんながつながる会



第1回 9月26日  
参加者構成:64名

- ・各団体代表者
  - ・行政
  - ・医療・介護関係者
- ①国の動向と在宅医療連携拠点事業について情報提供
  - ②テーブルごとに意見交換



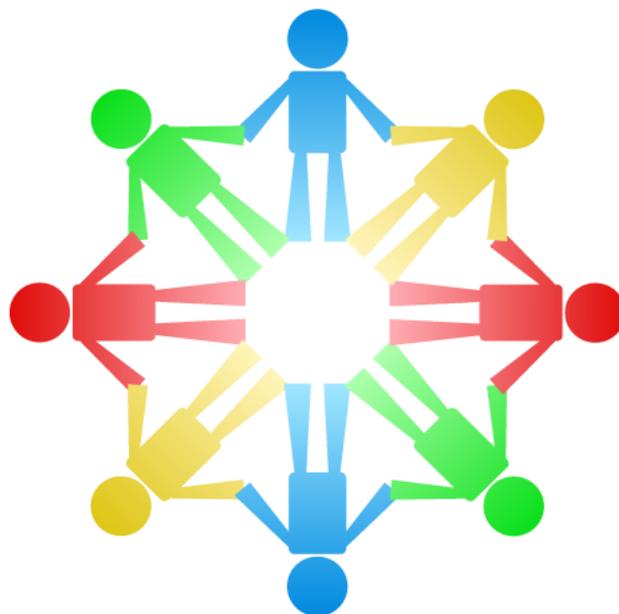
第2回 11月28日  
参加者構成:78名

- ・各団体代表者
  - ・行政
  - ・医療・介護関係者
- ①アンケート調査結果及び課題報告
  - ②ワークショップ  
多職種連携における情報共有についての検討

# アンケート調査

## <目的>

**他施設間・多職種間連携に関する課題の抽出**



# 調査票配布対象

調査票配布対象先 回収数／配布数

- ① **病院 36**／60カ所  
(宮城県病院名簿 平成24年4月1日現在より)
- ② **在宅療養支援診療所 16**／55カ所  
(東北厚生局届出受理医療機関名簿 平成24年8月6日現在より)
- ③ **在宅療養支援歯科診療所 15**／24カ所  
(独立行政法人福祉医療機構(WAMNET)検索 平成24年9月1日現在より)
- ④ **訪問看護ステーション 21**／54カ所  
(仙台市介護保険サービス事業者一覧 平成24年9月1日現在より)
- ⑤ **調剤薬局 101**／248カ所 ※うち在宅訪問実施は39カ所  
(みやぎ薬局検索「在宅医療」参加とある薬局 平成24年9月1日現在より)
- ⑥ **居宅介護支援事業所 92**／245カ所  
(仙台市介護保険サービス事業者一覧 平成24年9月1日現在より)

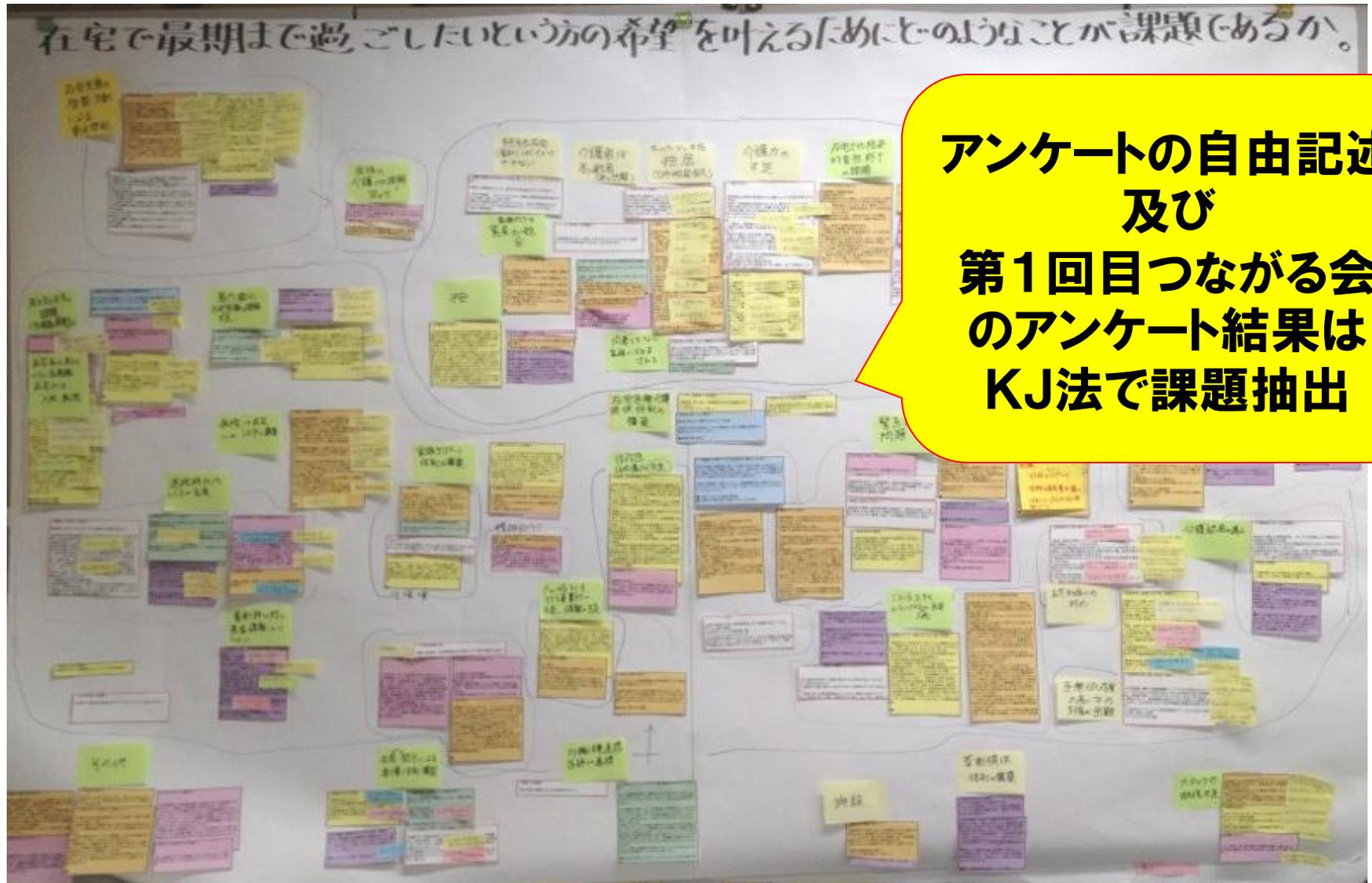
---

**合計 281**／686カ所 **回収率 40.1%**

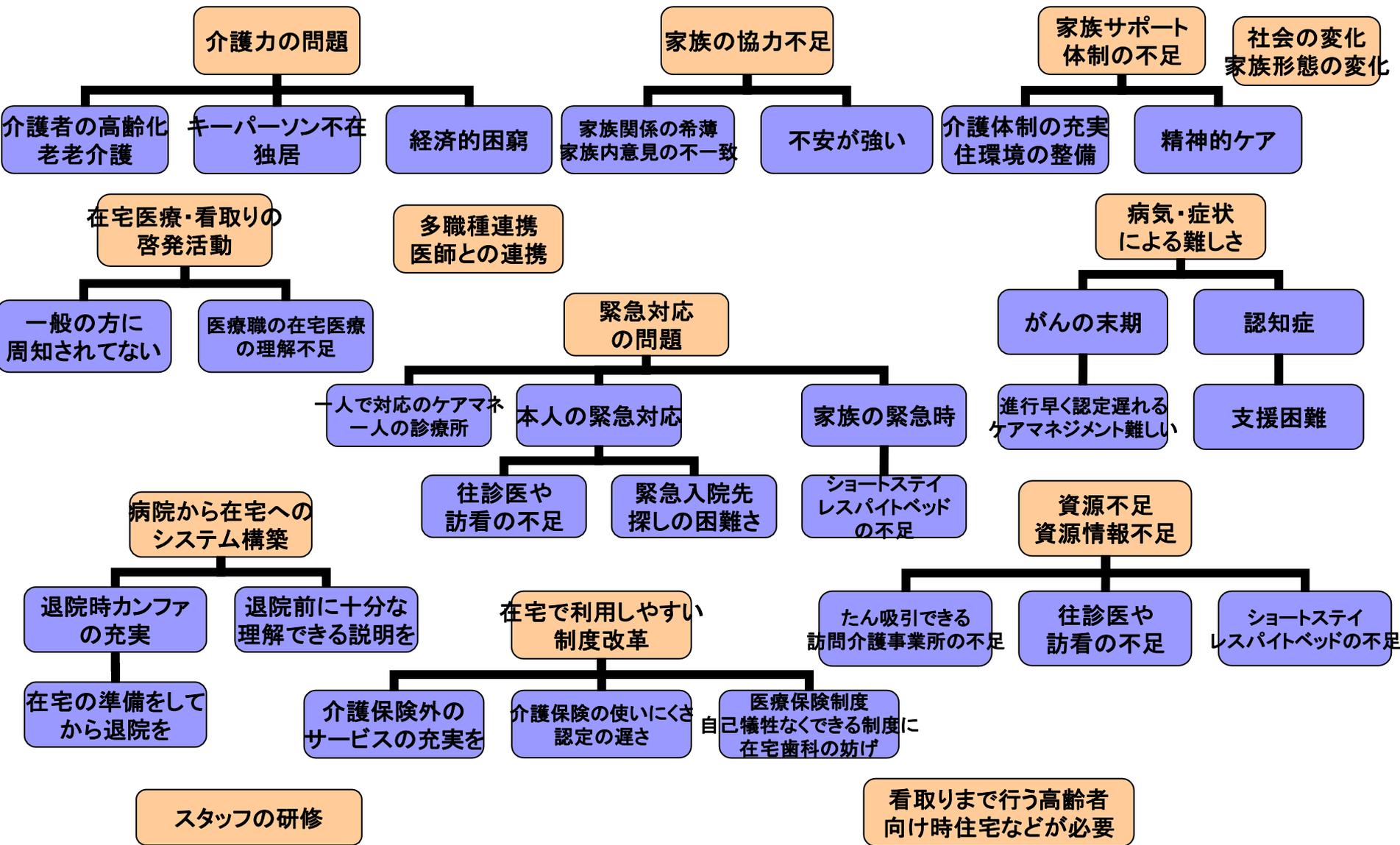
# アンケートの主な内容

- **在宅で最期まで過ごしたいという方の希望を叶えるための課題(自由記述)**
- **多職種連携のための施設情報・患者情報の共有の課題(自由記述)**
- **他施設との連携に必要な情報(得たい情報)および自施設情報の開示について(開示できる情報)(選択式)**

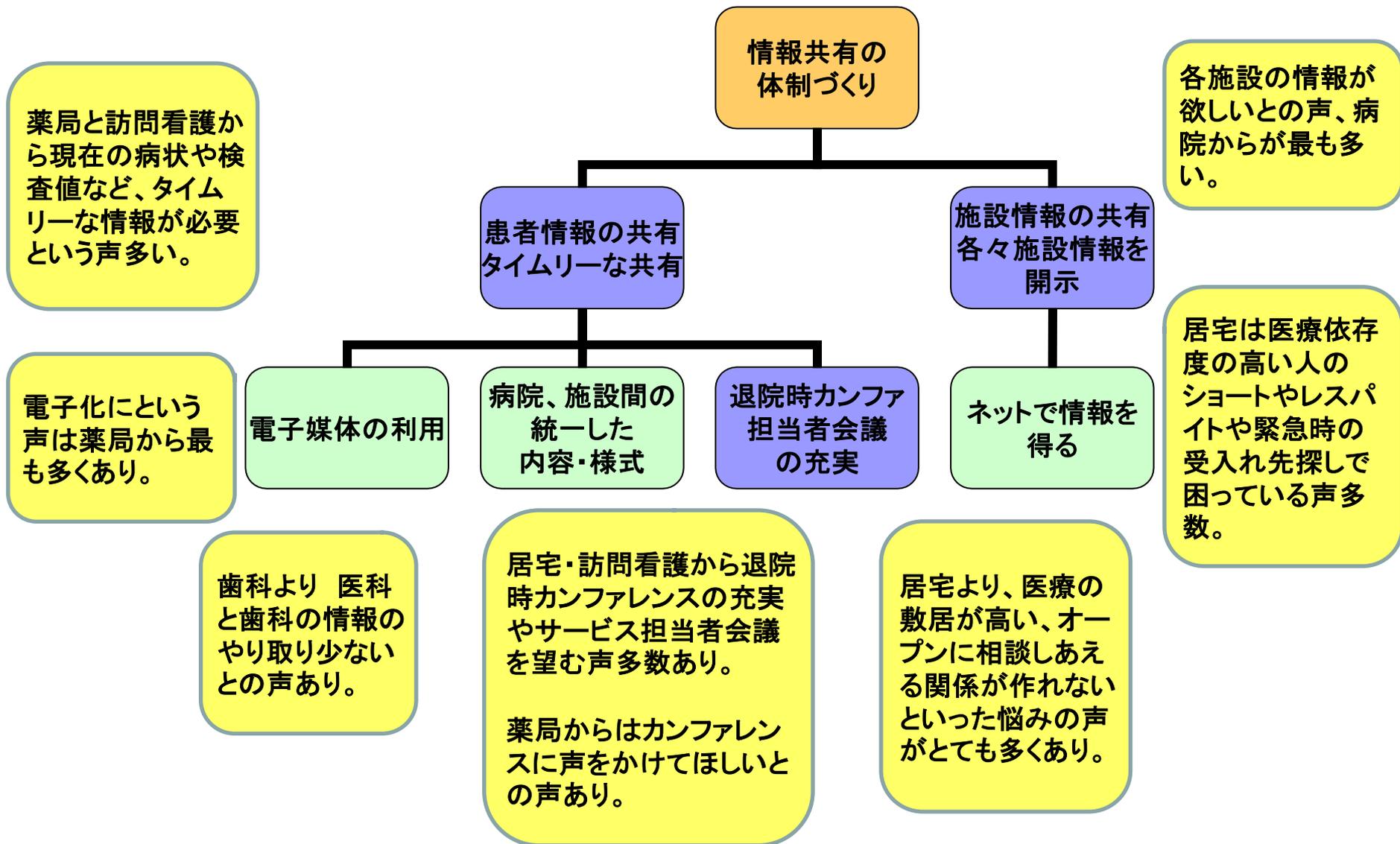
# 在宅で最期まで過ごしたいという方の 希望を叶えるための課題



# 在宅で最期まで過ごしたいという方の 希望を叶えるための課題



# 他施設・多職種連携のための 施設情報・患者情報共有の課題



# 情報共有の課題 自由記述 生の声ご紹介

## 病院

- ・医療機関や施設などの空床情報をリアルタイムに共有できるネットワークがあると良い。
- ・具体的にどのような疾患をみるか、どのような処置に対応可能かなど細かい生きた情報を開示してほしい。
- ・医療相談員、個人レベルでの施設情報、患者情報のやり取り共有の傾向が強い。病診、病病連携のシステム化構築が今後の課題。

## 在宅療養支援診療所

- ・医療者側からケアマネ等とオープンなコミュニケーションをとっていく中で連携を強化していく必要性を感じます。他職種の方々が情報を遠慮なく伝えやすい状態を作っておくことが大切なことのひとつかと思っています。
- ・ケアマネや事業所と定期的ミーティングで顔が見える関係を作りたいが、時間的、物理的に困難です。

## 在宅療養支援歯科診療所

- ・多職種間で共通に利用できるカルテ形式のようなものが、患家、施設等にあると、すべての状態をみんなで把握できるのではと思います。
- ・排他的というのではなく、ある程度コアメンバーで利用者を支えるチームになっていると、情報共有しやすいような気がします。狭いエリアで協力できる体制が現実的では。
- ・情報は、自ら求めないと得られない。

## 調剤薬局

- ・タイムリーに情報が収集できると、処方の変更なども憶測ではなく、きちんと説明できると思います。
- ・クラウド化や一元管理について、今後在宅での人数を考えると今から取り組みたい。検査データの確認。腎、肝機能、特に、副作用予防のためにわかると良い。
- ・密な情報交換をして、患者様・ご家族のケアも含めやっていかないと。定期的ミーティング等は効果的だと思います。

## 訪問看護ステーション

- ・病状変化あり主治医へ報告した際、指示や対応、情報等返信ほしい。
- ・主治医が個人病院だと連絡取りやすいが、大病院だと連携室にファックスを用いて等、タイムリーな連携難しい。
- ・在宅生活・療養生活を送る人の支援体制について周知されていない。訪問看護を知らない人、施設もあり、課題だと思う。

## 居宅介護支援事業所

- ・医療系サービスにはなかなか相談しづらい雰囲気を出されることがある。医療職の方が、介護についての理解を持ってもらえるとうい。
- ・主治医との連携にとても気を遣う。忙しい業務の中で、どこまでの情報を提供したらいいか迷う。
- ・スムーズな連携により利用者を支える仕組みが必要と思います。そのためにはケアマネ側のレベルアップが不可欠と感じます。

# 在宅医療

平成24年

12月

3~14日

## 体験実習参加者募集!



在宅医療を体験してみたいという方のために、「在宅医療体験実習」を予定しております。ご希望の方はふるってお申し込みください。

■日時:平成24年12月3~14日(除く土日)のうちの希望日

# つながりラインで登録することにより 掲載可能な情報

## ■施設特化機能の有無(各疾患・療法の対応可否)

### ▽例1:在宅療養支援診療所

(認知症 がん 脳血管疾患後遺症 特定疾患(難病) その他全身性疾患  
在宅酸素 点滴 経管栄養 中心静脈栄養 人工呼吸器 など)

### ▽例2:訪問介護事業所

(介護保険による訪問介護 自立支援法による重度訪問  
喀痰吸引 経管栄養 など)

## ■休日・夜間の体制

## ■新規在宅療養者の受け入れ態勢・申し込み手順

▽連絡先電話番号・担当者名

▽事前に必要となる情報

## ■訪問範囲の目安

▽区または住所単位で、対応可能かどうかを図示する

▽1km四方のグリッド単位で、対応可能かどうかを図示する

など、本日配布の“アンケート調査結果”にある全項目

# つながりラインの一部(イメージ)

～自宅で暮らす喜びを広めよう！～

このページの更新日：2011/02/08

## 在宅療養支援MAP

全国

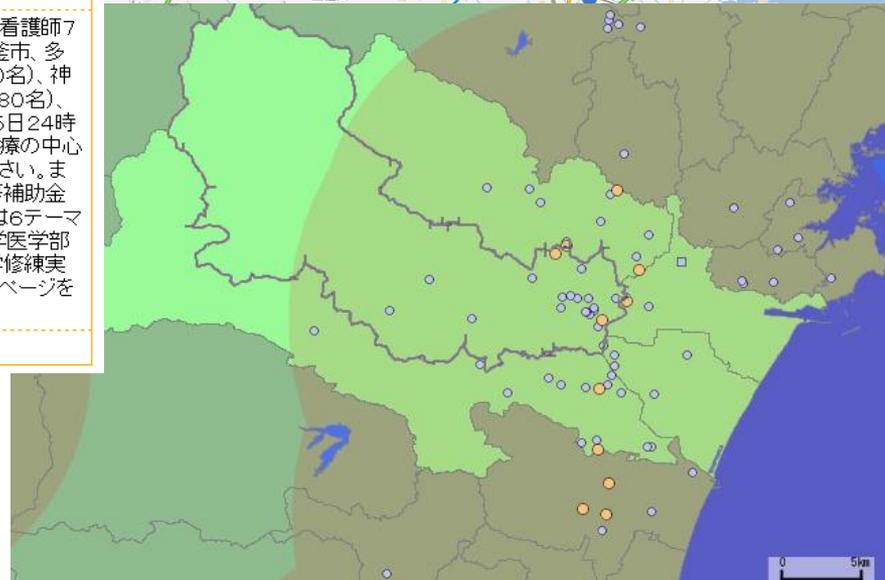
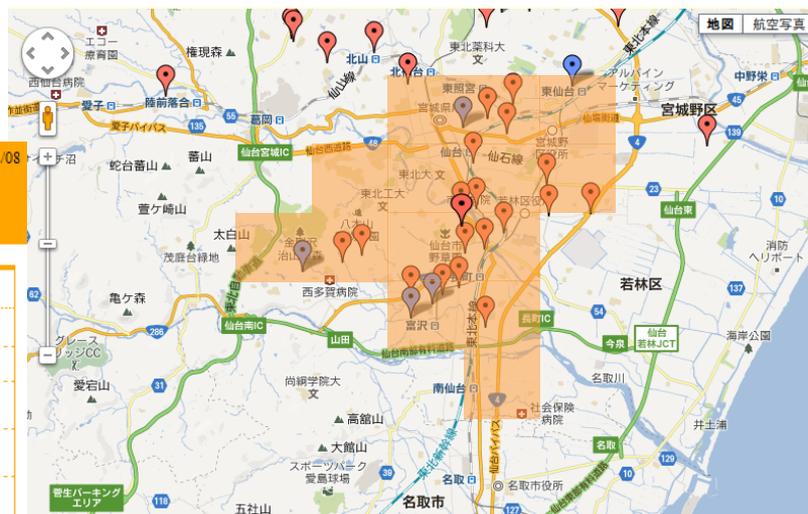
宮城県

仙台市

青葉区

医療機関詳細

名称	仙台往診クリニック
住所	宮城県仙台市青葉区花京院2-1-7-3階
対応地域	仙台市、及び周辺の市町村
施設機能	<b>訪問看護</b>
対応療法	<b>在宅人工呼吸療法</b> <b>在宅酸素療法</b> <b>在宅中心静脈栄養法</b> <b>在宅成分栄養経管栄養法</b>
対応疾患	<b>がん</b> <b>特定疾患(難病)</b> <b>脳血管障害後遺症</b> <b>その他全身性疾患</b>
コメント	在宅医療専門の「在宅療養支援診療所」。常勤医4名、非常勤医7名、看護師7名によるチーム構成で、仙台市内全域、隣接する富谷町、大和町、塩釜市、多賀城市、名取市まで訪問診療を行っています。がん末期の方(30~40名)、神経難病の方、人工呼吸器(40名)、在宅酸素(50名)、胃瘻経管栄養(80名)、中心静脈栄養(10名)等複数の処置を必要とされる重症の方々へ365日24時間体制で在宅医療を提供しています。年間在宅看取り100名。地域医療の中心として活動する当クリニックを通して実践的在宅医療の全てを学んで下さい。また、当クリニックは平成15年度より厚生労働省老人保健事業推進費等補助金の交付を受け、在宅療養環境に関する研究事業を行い(平成21年度は6テーマの研究事業)、制度改革への提言も発表してきました。院長は東北大学医学部臨床教授であり、高次修練、二次地域医療体験実習、一次臨床医学修練実習も担っています。臨床・研究・教育が業務の三本柱です。ぜひホームページをご覧ください。
ホームページ	<a href="http://www.oushin-sendai.jp/">http://www.oushin-sendai.jp/</a>



凡例 ■ 現在表示中のエリア ■ 他のエリア ○ 在宅療養支援診療所(詳細情報あり) ○ 在宅療養支援診療所(詳細情報未登録) ○ 病院 ○ 対応範囲の目安

# 今後予定している活動

- 第3回在宅医療とみんながつながる会
- 在宅医療普及啓発パンフレットの配布
- 他

ご静聴ありがとうございました。

